

国鉄「分割・民営化」阻止／三里塚二期着工粉碎！

分割・民営化=10万人首切りの先どり実施 「進路アンケート調査」許すな

選別「首切り」動労本部・国労中央を弾劾する
手をかす

国鉄当局は、十二月十三日、政府が国・自治体に三万人の余剰人員を受け入れると閣議決定したのを受けて、「進路アンケート」調査を開始した。このアンケートは「分割・民営化」を前提とした断じて許せないものである。当局は、希望調査と称して実は「雇用」を恫喝材料に労働者・労働組合に屈服をせまっているのである。これに応ずることは「分割・民営化」・十万人首切りを認めることだ。これに応じようとする動労「本部」革マルおよび国労中央を徹底弾劾せよ！

「希望」という名の「首切り」

当局のアンケートの中身は、国・地方公共団体・国鉄関連事業・一般企業・新会社・貨物他の新事業体・その他を地域の選択も含め、どれを希望するかというものである。このアンケートのことわり書きには「今回のアンケートは昭和六一年度の公的部門における採用のための調査を主目的としたものであり、昭和六二年四月一日に新事業体への移行が行われる場合に、最終的にみなさんの帰属等を決定するために希望調査は再度行うこととなりますが、今後の配属等についての希望表明のひとつの機会として理解していただいて結構です」というのである。

なんたるペテン。そもそも①一体、いつ、どこで「分割・民営化」が決まったんだ。②十万人の選別③「分割・民営化」後の帰属が希望で決まるのか。④今後の配属等の希望表明とは、広域配転の準備ではないのか。ふざけるな、これに応じた瞬間に労働者は分断され、抵抗が封じられ「三人に一人」の首切りの選別が一気に進行するだけではないか。

アンケートの狙いは国労の解体

動労「本部」革マルは、このアンケートに待ってましたとばかりに積極的に応じている。なにが「国鉄を国鉄としてのこす」だ。「分割・民営化」大賛成という本性が見え見えではないか。そして、

国労内革マルもチャンスとばかり国労の方針を無視し、これに積極的に応じ、国労の分断・攪乱を策している。革マル分子の狙いは、一方で国労の首を要求し、他方で国労を分断することで当局と一体となり、国労を解体することにある。そして、国鉄内において反動的主導権を獲得しようとしているのだ。

バスター策動Ⅱ敗北の道許すな

にもかかわらず国労中央は、当初「組合で回収」の方針を「一時保留」とし、組合員個々の判断にゆだねるがごとき不明朗、無責任な態度をとり、あげくに「雇用安定協約」とバスターにしようというのである。

当局は、この動揺と後退を見すかして「アンケートの進みぐあいを見てから」と、又しても国労の完全屈服Ⅱ完全骨ぬきを狙いつつ、完全にナメ切った対応に出てきている。先の、「三ない運動をやめれば」との誘導、「スト破りに協力すれば」との誘導につづいて今度がこれだ。その結果は明らかだ。これでは当局・革マルの餌食になってしまふ。

動労「本部」革マル、国労中央の裏切りを徹底的に弾劾し、職場討論・職場闘争を大きくまき起しながら、来年三月の大合理化Ⅱ十万人首切りの先どり実施実力粉碎、「アンケート」実施Ⅱ選別開始絶対粉碎へむけ、断固として闘いぬこうではないか。そのみが、唯一の勝利の道である。

全組合員・家族の強固な団結で組織破壊攻撃を粉碎せよ！